

①事例名		
通信(職員向け)による意識付け		
②学校名		
高島市立青柳小学校	連絡先 0740-32-0039	
③取組分野(複数選択可)		
☒ 勤務時間の意識づけに関する取組		
④直面していた課題(取組前の様子)		
・令和6年度1学期末現在で、前年度比較で6%増(一人あたり0.8h増)であった。 ・令和6年7月現在、半数の職員が超過勤務時間を月45時間以上としていた。 ・教職員の在校等時間の削減に対する意識が低い。		
⑤在校等時間の削減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付	
・1学期末の職員打ち合わせで1学期間の超過勤務時間の実態を全職員に周知し、夏季休業中の積極的な年休取得と、1日当たりの勤務時間0.5～1時間を目安とした業務改善について指導した。 ・通信(職員向け)で、働き方改善や働きがいの考え方、チェック項目を掲載し、意識づけを行った。 ・教職員アンケート(学校評価)で働き方に関する項目を設定し、結果を共有した。 ・次年度構想会議の共通理解として、令和6年4月～12月までの超過勤務時間の結果と、国や文部科学省の情報を共有した。	別紙 ・教頭通信 	
⑦取組の成果	・教職員への働き方改善について、実態や考え方を周知して以降(令和6年8月より)、次のような改善が見られた。 ◀超過勤務時間の平均(月あたり)▶ 令和5年度 1学期(42.6h) 2学期(41.5h) 令和6年度 1学期(45.2h) 2学期(39.0h) ◀超過勤務45時間以上の人数(月あたり)▶ 令和5年度 1学期(6.5人) 2学期(4.75人) 令和6年度 1学期(6.25人) 2学期(4.25人) その他、超過勤務を削減する(意識的に早く退勤する)意識が見られる。	・次年度構想会議の資料 2025/01/06 次年度構想委員会 I 次年度(令和6年度)構想会議について 1 目的 次年度の学校経営に向けて本年度の反省を活かし、よりよい教育活動を行う。 2 方法 ①教職員の学校評価の結果を分析する。 ②今年度の取組より、それぞれの検討課題について意見を出す。 ・各項目(テーマ)に沿って、評価や見直し(改善策等)を検討する。 意見については、グループワークで集約する。 ③出された評価を整理し、見直し内容を共有する。 1月15日(水)、1月22日(水)…協議の積み残しがあれば、29日(水) ※次年度構想の資料については、青柳小紺色ファイルに綴じておいてください。